

山梨県中小企業団体中央会機関誌

中小企業 タイムズ

2月号

2016年
第711/286号
(毎月1日発行)

発行所 山梨県中小企業団体中央会
甲府市飯田2-2-1 中小企業会館4階 TEL 055(237)3215・FAX (237)3216
http://www.chuokai-yamanashi.or.jp e-mail webmaster@chuokai-yamanashi.or.jp

定価100円
昭和36年4月10日 第三種郵便物認可
会員の購読料は賦課金の中に含まれます。

今月の見どころ

- 1面 ● 中央会創立60周年記念式典
- 2面 ● 中央会創立60周年記念式典表彰者
- 3面 ● 景況情報(情報連絡員報告)
● オピニオン
- 4面 ● 組合活動紹介 組合活動あれこれ
- 5面 ● 6次産業化事業者紹介
● ものづくり事業者紹介
- 6面 ● 学生企業レポート
- 7面 ● 事務連絡協議会 視察研修
- 8面 ● 第21回組合まつり開催案内

1月の出来事

- 時事
 - 1日…2015年出生数100.8万人、5年ぶりに増加
 - 14日…2015年交通事故死4117人…15年ぶり増加
 - 15日…スキーバス転落14人死亡、軽井沢
 - 18日…関東甲信地方で大雪
 - 24日…強い寒気、各地で記録的な低温
- 山梨県中央会ニュース
 - 14日…中央会正副会長会議、創立60周年記念式典

2月の予定

- 2日…「事業承継」講習会
- 5日…労務改善団体連合会新春講演会・交流会
- 17日…事務連絡協議会親睦交流会(新年会)
- 22日…山梨・静岡UIJターンイベント

中央会創立60周年記念式典を開催

未来宣言 ~つなげよう! 次の世代へ~



記念式典の様子

未来宣言

つなげよう! つぎの世代に
~ Join with the next generation ~

我が国の中小企業は、柔軟性と機動性を発揮し絶え間ない経営の革新に取り組むことで大きな経済環境の変化に対応し、戦後の復興と経済成長に大きな役割を果たしてきました。

その中において、中小企業組合は、共同購買、共同受注、金融事業など様々な共同経済事業を通じて経営資源の集約と合理化を図り、中小企業の経営力の向上を支えてきました。

しかしながら、経済が低成長期に移行するとともに、近年のグローバル化や情報化の進展により、中小企業を取り巻く競争条件も大きく変化しています。また、本格的な人口減少社会の到来により、我が国の社会経済構造はこれまで経験したことのない大きな変化を迎えることが予想されています。

こうした変化にさらされながらも、中小企業は、地域の経済活動と雇いを支え持続的な発展を続けて行くことが求められており、中小企業の連携組織は、協同による多様な事業を展開することで中小企業の経営を補充し、経営資源の強化を実現する役割を果たさなければなりません。

そこで、中央会の創立60周年にあたり、中小企業の経営を相互扶助の精神と様々な事業展開により支えてきた連携組織の原点と成果を再確認するとともに、様々な事業者が多角的に連携し協働することにより、常に時代の変化の先頭に立ち、自らを革新し挑戦していくことを宣言します。

平成28年1月14日

山梨県中小企業団体中央会

中央会は1月14日(木)、アピオ甲府(昭和町)で創立60周年記念式典を開催した。

60周年記念事業実行委員長の栗山直樹副会長が開会を宣し、式典の第一部として明治大学経済学部の森下正教授による「新たな経済環境における中小企業連携組織の役割と可能性」をテーマとした基調講演が行われた。

森下教授の講演では、激変する経済環境下における中小企業組合をはじめとした連携組織の意義と重要性が述べられ、これからの新たな経営環境のもとで求められる連携組織の役割として、組織による経営課題や問題の解決や新商品・新サービスの創造、情報提供機能の強化や若手リーダーや社員の人材育成など、組織化の有効性と未来に対する提言が行われた。また講演終了後には、須田青年中央会会長による「未来宣言」が行われ、第一部を締めくくった。

3時から、山下誠副知事、石井修徳県議会議長や大村功作全国中央会会長など中央会関係の来賓、会員組合やその企業関係者ら約450名の出席を得て記念式典が開催された。

冒頭、会長からは、組合を支え発展に尽力していただいた功労者の労をねぎらうとともに、「県下の中小企業組合がこれまで果たしてきた成果を基礎に、これからも経営環境の変化に対応するため、なお一層適応力や機動力を発揮できるよう、組合支援を通じて新たな事業連携にチャレンジしていきたい」と式辞が述べられた。

続いて表彰式が行われ、中小企業長官・関東経済産業局長・山梨県知事・全国中央会会長の各表彰に加え、60周年を期に新たに設けられた、理事長歴10年以上の功労者を対象とした会長特別表彰など、125名・21団体が表彰された。

場を替え4時30分より開催された記念パーティでは、後藤齊知事、山本知孝甲府市副市長、中谷真一・宮川典子・堀内詔子衆議院議員の祝辞があり、友好団体を代表して小林寛樹県商工会連合会会長の乾杯により祝宴に入り、中央会関係者同士が交流と懇親を深めていた。

終わりに、住本佳史商工中金庫甲府支店長が締めあいさつを行い、記念式典の全ての日程が終了した。なお中央会では、60周年記念事業の一環として記念誌の制作も進めており、発行・配布を3月に予定している。



講師の
森下正教授



大村功作
全国中央会会長



式辞を述べる
松葉惇会長



記念パーティの様子

中央会創立60周年記念事業 受賞者名簿

中小企業庁 長官表彰

●組合功労者

千野 進 山梨県山砕石事業協同組合

関東経済産業局 局長表彰

●優良組合

甲州市管工事協同組合

山梨県知事表彰

●優良組合

甲斐市管工事協同組合
企業組合山のパン屋桑の実
クリーンネット笛吹協業組合
下水道メンテナンス協同組合
韮崎市環境事業協同組合
富岳物流事業協同組合
北杜市環境事業協同組合
花開所の郷・南清里フラワーパーク企業組合
山梨飲食業協同組合
山梨協豊事業協同組合
山梨県学校給食協同組合
山梨県骨材販売協同組合
山梨中央建設協同組合
山梨中央青果商業協同組合
湯村温泉旅館協同組合

●組合青年部

山梨県電気工事工業組合青年部会

●組合功労者

一瀬 清治 (市川和紙工業協同組合)
植松 徹 (協同組物流ネットワーク山梨)
梅本 実 (山梨県パン協同組合)
遠藤 一郎 (甲府市食品団地協同組合)
荻原 公明 (山梨県自動車整備商工組合)
小田切 昭 (山梨県重機・建設解体工事業協同組合)
開森 秀昭 (山梨県自動車電装品整備商工組合)
川手 正紀 (山梨県アパレル工業組合)
黒川 一夫 (身延砂利協同組合)
興石 輝夫 (山梨県学校給食パン協同組合)
斎藤 忠文 (山梨県コンクリート製品協同組合)
佐野 龍一 (山梨県印刷工業組合)
篠原 元 (山梨県広告美術業協同組合)
末木 基治 (峡北自動車整備協業組合)
杉山 一美 (山梨県水産物商業協同組合)
高部 駿三 (谷村織物工業協同組合)
田島 征夫 (上野原機械器具工業協同組合)
長坂 茂 (山梨衣料チェーン協同組合協プロス)
西山 武夫 (山梨県化粧品小売協同組合)
萩原 利男 (山梨県地質調査事業協同組合)
半田 幸久 (岳麓自動車検査事業協同組合)
細田 幸次 (都留信用組合)
町田 昌義 (山梨物流事業協同組合)
宮下 幸久 (山梨県わた寝具商工組合)
山田新太郎 (甲府市管工事協同組合)
渡辺 栄一 (山梨県財形住宅協同組合)

渡辺 忠男 (山梨県燃糸工業組合)
渡邊 力 (山梨療術業協同組合)

●青年部功労者

鈴木 浩文 (山梨県食品工業団地協同組合青年部)
須田 猛 (山梨県自動車整備商工組合AMS山梨青年部)
山縣 正道 (山梨県塗装協同組合青年部甲塗会)

●優秀組合専従職員

飯島 学 (山梨県自動車整備商工組合)
一瀬 司 (山梨県火災共済協同組合)
井上 佳美 (甲府ホテル旅館協同組合)
今井 朝子 (山梨衣料チェーン協同組合プロス)
白田あけみ (山梨県中小企業団体中央会)
荻 理子 (高根クラインガルテン企業組合)
小野 俊夫 (山梨県地質調査事業協同組合)
笠井 靖子 (山梨県中小企業団体中央会)
興水 一篤 (山梨県中小企業団体中央会)
小林 由紀 (甲府ホテル旅館協同組合)
小宮山みゆき (山梨県美容業生活衛生同業組合)
清水 春菜 (山梨県美容業生活衛生同業組合)
高野 浩 (甲府市管工事協同組合)
田中 千春 (山梨県山砕石事業協同組合)
田中 秀志 (山梨県生コンクリート工業組合)
中込 直 (山梨県火災共済協同組合)
名取 伸也 (山梨県自動車整備商工組合)
平井 裕美 (山梨県美容業生活衛生同業組合)
平山三津枝 (山梨物流事業協同組合)
藤巻 寛 (山梨県火災共済協同組合)
古屋 孝明 (山梨県中小企業団体中央会)
保坂 淳 (山梨県中小企業団体中央会)
堀内 修 (山梨県中小企業団体中央会)
水野 幸子 (山梨県ワイン酒造協同組合)
三井 伸吾 (山梨県火災共済協同組合)
三井 弘美 (山梨県ワイン酒造協同組合)
三井 成志 (山梨県中小企業団体中央会)
安村 藤 (甲府市管工事協同組合)
渡辺 勝子 (山梨中央青果商業協同組合)

全国中小企業団体中央会 会長表彰

●優良組合

協同組合山梨安心サービス
山梨建築設計監理事業協同組合
山梨県造園建設業協同組合

●組合青年部

協同組合山梨異業種交流青中倶楽部

●組合功労者

大谷 秀樹 (山梨県事務機文具商協同組合)
高野 芳造 (山梨県塗装協同組合)

山梨県中小企業団体中央会 会長特別表彰

秋山 智明 (山梨県営繕事業協同組合)
秋山 仁博 (山梨県電設資材卸業協同組合)
浅野 正一 (峡東ネットワーク事業協同組合)
天野 公夫 (甲斐東部材プレカット協同組合)

飯野 巧 (山梨県青果商業協同組合)
飯塚 栄 (山梨県自転車軽自動車商協同組合)
石部 元章 (下部商工相互協同組合)
石森 公夫 (富士川中流砂利協同組合)
井上聰一郎 (山梨県砂利協同組合)
岩間 英雄 (山梨県農業機械商業協同組合)
上田 修 (甲斐リサイクル事業協同組合)
上原 勇七 (甲府印伝商工業協同組合)
植松 徹 (協同組物流ネットワーク山梨)
内田 進 (南アルプス商業協同組合)
遠藤 一郎 (甲府市食品団地協同組合)
大木 政 (甲府ハイヤー事業協同組合)
荻原 公明 (山梨県自動車整備商工組合)
長田 正彦 (花開所の郷・南清里フラワーパーク企業組合)
尾山 敦子 (企業組合山のパン屋桑の実)
開森 秀昭 (山梨県自動車電装品整備商工組合)
梶原 増三 (河口湖商業協同組合)
勝俣 明美 (山梨県絹人織物工業組合)
勝俣 藤久 (山梨県環境整備事業協同組合)
金子二三男 (上野原エルピーガス協同組合)
亀井 勝代 (野草のさと・大月加工センター企業組合)
北川 湜溥 (山梨県ビルメンテナンス協同組合)
木村 勝幸 (都留機械金属工業協同組合)
河野 通一 (山梨県水晶美術彫刻協同組合)
興石 輝夫 (山梨県学校給食パン協同組合)
小林 信也 (双葉農の駅企業組合)
小松 義文 (山梨中央青果商業協同組合)
齊藤 友一 (ログクラフト事業協同組合)
志村 和也 (富士観サービス事業協同組合)
新藤 進 (山梨報徳機工協同組合)
高野 芳造 (山梨県塗装協同組合)
田代 政明 (山梨県鍍金工業組合)
丹澤 純一 (甲府市環境事業協業組合)
戸栗 敏 (山梨県木材製品流通センター協同組合)
中込 正明 (山梨県型枠工事協同組合)
中澤 潤 (山梨県セメント卸協同組合)
中嶋 克司 (西小尾林業企業組合)
名取 誠 (山梨県美容用品商業協同組合)
西中山 岳 (西弘不動産管理協同組合)
西山 武夫 (山梨県化粧品小売協同組合)
萩原 利男 (山梨県地質調査事業協同組合)
羽田 修 (向原染色加工協同組合)
早野 潔 (欽明事業協同組合)
深澤 仁 (山梨県美容業生活衛生同業組合)
藤森 正司 (長坂ショッピングセンター事業協同組合)
槇田 則夫 (西桂織物工業協同組合)
丸山 光則 (山梨県蒟蒻原料商工業協同組合)
三木 範之 (山梨県郡内生コンクリート工業協同組合)
宮下 久 (大明見染織協同組合)
望月 俊二 (鵜沢毛メリヤス工業協同組合)
望月 泰男 (山梨県サッシ販売工業協同組合)
山下 安廣 (石和温泉旅館協同組合)
山田 龍矢 (山梨医療福祉事業協同組合)
米山 義智 (山梨プロイラー事業協同組合)
若尾 明彦 (甲府市資源回収協同組合)
渡邊 力 (山梨療術業協同組合)
渡邊 富裕 (山梨県歯科医師協同組合)
渡邊 幸男 (山梨県バス事業協同組合)

▶データから見た

業界の動き

平成27年
12月分

●情報連絡員からの景況報告の概要

山梨県内の12月景況を全業種のDI値(前年同月)と比較すると売上高で6ポイント、収益状況6ポイント、景況感14ポイントと改善傾向にあるものの景気回復感はまだ感じられない。

夏以降の中国経済の減速を受けて製造業を中心にメーカーや親会社からの製品の受注減に加え、製品単価の値下げや短納期による人件費の上昇など業況の悪化を訴える業種が拡大している。

また、暖冬の影響によりエアコンをはじめとする暖房機器や冬物衣料の販売不振、山梨特産の「甲州ころ柿」の不作など、季節需要が大幅に引き下げられ需給バランスを崩した業種が小売業を中心に多く報告された。

一方、ガソリンや軽油価格の低下が製造業や運送業等の企業のコスト負担を和らげる要因となっているが、安値競争に加え暖冬による暖房用の灯油の需要減はガソリンスタンドの経営を圧迫している。

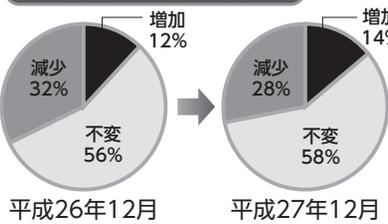
建設業関連では、公共事業の大幅な減少や技能士の不足から地域や企業間で景況感の格差が広がっており地方経済の景気低迷が長引いている要因となっている。

今後、中国経済の減速が引き続き懸念され、その影響等による資金繰りや技術者等の人材不足、価格競争の激化など、県内の中小・小規模企業の多くは、先行きの不透明感が強まる中で、不安を募らせている。



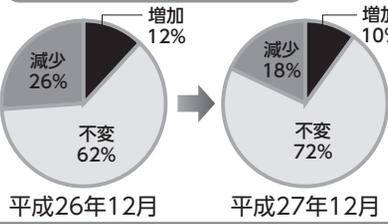
データから見た業界の動き(平成27年12月分)

▶売上高(前年同月比)



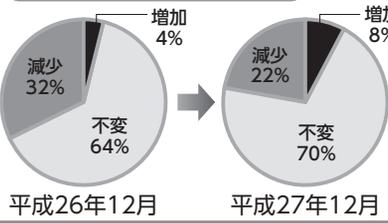
●DI値 ▲14(前年同月比+6)
●業種別DI値
製造業 ▲20(前年同月比▲5)
非製造業 ▲10(前年同月比+13)
●前月比DI値
製造業 5ポイント改善
非製造業 13ポイント悪化

▶収益状況(前年同月比)



●DI値 ▲8(前年同月比+6)
●業種別DI値
製造業 ▲25(前年同月比+10)
非製造業 +3(前年同月比+16)
●前月比DI値
製造業 5ポイント悪化
非製造業 10ポイント悪化

▶景況感(前年同月比)



●DI値 ▲14(前年同月比+14)
●業種別DI値
製造業 ▲30(前年同月比+5)
非製造業 ▲3(前年同月比+20)
●前月比DI値
製造業 5ポイント悪化
非製造業 10ポイント改善

業界からの報告

■製造業

- 食料品(水産物加工)／おせち用の生食材や加工製品が好調のため全体の売上は前年同月比105%。
- 食料品(洋菓子製造)／自社ブランド製品や輸出は前年並みだが、量販店や専門店向け商品、OEMが低調のため全体の売上は90.4%。
- 食料品(菓子)／円高傾向になり輸入原材料の単価が値下がりし経費減に繋がった。
- 繊維・同製品(織物)／業界全体として閑散期のため低調。
- 繊維・同製品(アパレル)／暖冬のため冬物衣料の動きは悪いが、春物の受注は増加傾向。
- 木材・木製品製造／厳しい状況はなくなってきている。
- 窯業・土石(山碎石)／平成27年4～11月累計で製品出荷量が前年比13.5%以上

- 減少し、さらに諸資材の高騰により利益率が下降気味のため、設備投資ができない。
- 鉄鋼・金属①／全体的に低迷。
- 鉄鋼・金属②／悪い状態が続いている。
- 一般機器／燃料価格や原材料仕入れ価格が値下がりし製造コストが低下した一方、依然として国内需要の縮小と海外経済の減速を受け、厳しい状況。
- 電気機器①／物量の変動が激しく納期やコスト面が厳しく短納期、低コストでの受注のため、原材料、人件費が割高となり受注量が増加しても採算が難しい。
- 電気機器②／中国経済が悪化しているため、国内の仕事量も減少。
- 宝飾(研磨)／先行き不透明。
- 宝飾(貴金属)／売上の減少が経営を圧迫し、資金繰りも厳しい。

■非製造業

- 小売(青果)／暖冬により野菜類が安値で推移し価格も下落した。しかし、甲州名産の「ころ柿」の入荷量は前年比1/3程度しかなく年末の売上減少の要因になった。
- 小売(電化製品)／暖冬によりエアコン等の暖房機器は前年対比大幅ダウンしたが、テレビは前年を上回った。
- 小売(石油)／原油価格の下落が止まらないため卸価格も値下がりしたが市場価格がそれ以上に下落しておりガソリンスタンドの経営は逼迫している。季節商品である灯油も暖冬により前年対比50%減少しているガソリンスタンドもある。
- 商店街①／近隣のデパートのお歳暮、クリスマス商戦や甲府市観光課主催のイベント等も重なり賑わった。
- 商店街②／若干だが例年より年末の賑わいがあった感がある。飲食業は中国人観光客で賑わっていたが、冬物衣料は販売不振。
- 不動産取引／住宅地の値下がりが止まらない。
- 宿泊業／12月は、中国国内の決算期により日本への旅行客数は減少傾向。
- 美容業／12月業況は、全体的に繁忙。独立開業する店が増加傾向にあるため競争

- 激化。
- 警備業／公共工事が年度末に集中するため警備員不足が続く、受注要請に応じられない状況が続いている。
- 建設業(総合)／12月の県内公共工事動向は、前年同月に比件数で20%、請負金額で25%減少。12月までの累計では、件数、請負金額ともに11%減少。
- 建設業(鉄構)／県内は中弛み傾向が続いているため、首都圏を中心とした物件に頼っているため企業格差が拡大。
- 設備工事(電気工事)／経営者の高齢化や事業縮小を理由に組合員の脱退が増加、下請の傾向が強い職種のため、元請会社の景気状況が直接影響している。
- 設備工事(管設備)／技能士不足による人件費増や円安による原材料の上昇分を価格競争により転嫁できないなど、経営厳しい状況にある。
- 運輸(タクシー)／売上は、前年同月比21%増。しかし、年間売上は前年比マイナス。
- 運輸(トラック)／原油価格が下落傾向にあるが、今後の産油国等の動向に加え燃料価格の変動を注視している。

オピニオン

●一般社団法人山梨県河川防災センター 代表理事 望月 誠一氏

河川(かわ)とより良い関係を保つために敬意をもって接する

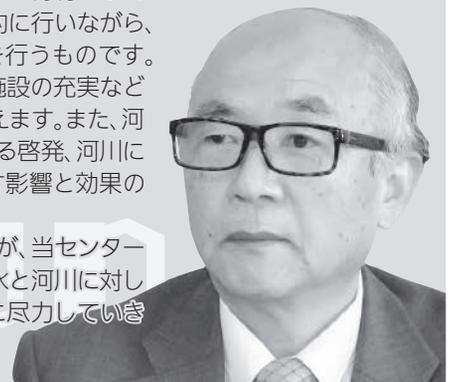
当センターは、山紫水明の山梨の河川を守ることを目的に昭和54年に設立され、行政と事業者が市民と協力して、地域防災上の観点から県内河川の環境保全のための活動をしています。

人間と河川との関わりは、飲料水、生活用水、農業や工業用水をはじめ、生息している動植物等の水産資源、古くは砂金や砂鉄などの資源採取など多岐にわたります。また、河川船運、信仰や憩いの場として、人間は悠々の年月を河川とともに進化してきました。しかし、時には水が紛争の要因の一つとなることもある世界に比べ、周りを山河や海に囲まれている日本人の水に対する認識は、無関心と言っている状況だと思っています。

昨年の茨城県常総市の鬼怒川の堤防決壊は記憶に新しいところですが、本県でも昭和34年に台風による河川の氾濫と堤防の決壊による大災害がありました。本県の橋や堤防は100年に1度の災害に耐え得る設計がされているものの、近年の気象変動を考えると絶対に安全だと言い切れません。

当センターは、河川に対する理解と河川防災の確保のために事業を行っています。その中の「特定砂利採取制度」は、コンクリート骨材として最も良質な資源である河川砂利の採取を制限しつつ計画的に行いながら、河川の治水安全度の向上のための護岸工事等の対策工事を行うものです。こうした建設資材である砂利の採取と堤防等の河川管理施設の充実などの河川対策を並行して行うことは、社会貢献度が高いと考えます。また、河川に関する啓蒙普及のために、防災思想や環境保全に関する啓蒙、河川に関する歴史的資料の収集と保全、開発が河川環境に及ぼす影響と効果の調査研究も行っています。

日本では安心・安全であることがあまり意識されませんが、当センターは河川に関する専門機関として、人間の生存に深く関わる水と河川に対して畏怖と敬意を持ち、河川の活用と安全を確保する事業に尽力しています。



TOPICS

蕪崎市環境事業協同組合

保育園児を対象に環境活動事業を実施

蕪崎市環境事業協同組合(向山陽一郎理事長 組合員9社)では、蕪崎市環境課が実施する「蕪崎市環境活動事業」に協力し、去る11月26日に蕪崎東保育園で保育園児と保護者を対象とした環境啓発イベントに参加した。

この事業は、蕪崎市におけるゴミの減量化や資源物のリサイクル率の向上を目的として、保護者には環境保全と地球温暖化防止のためのゴミ減量の啓発として、園児



工作教室の指導をする篠原専務理事

には家庭内の様々な不要物の再利用方法に気づいてもらうきっかけとしてもらうために、3年前から継続して開催されており、組合では開催当初から協力を続けている。

当日は園児58人と保護者50人が参加、市環境課の職員による「ありがとう・ごはんつぶマン」と題した紙芝居とゴミとリサイクルに関するクイズを楽しんだ後、県公認の「やまなしエコティーチャー」の資格も持つ篠原専務理事による牛乳パックを利用した小物入れの工作に、保護者と一緒になって取り組んだ。園児は、不要品と考えていた牛乳パックが色とりどりの小物入れに変身する様に驚き喜んでいた。

場所を移して、園庭におかれたゴミの収集運搬用のパッカー車を向山理事長が操作し、収集作業中はパッカー車に近づかないように注意することや、

ゴミ袋の中に混じった資源物を見つけて分別の重要性を園児に理解してもらうなどの実演を行った。



園児にパッカー車の説明をする向山理事長

向山理事長は「我々組合員は、蕪崎市から市民の生活系廃棄物の収集運搬と処理の委託を受けている。保育園児や保護者といった若い世代の市民に、組合の事業を知ってもらうとともに環境保全意識を高めてもらえれば、蕪崎市のゴミ減量化やリサイクル推進につながると期待している。これからも市と一体となって地道に環境活動を継続していきたい。」と今後の活動に対しても積極的に協力していく考えを語ってくれた。

TOPICS

山梨県造園建設業協同組合

『森林セラピー』による心と身体の健康づくりを指定管理事業「武田の杜保健休養林」

山梨県造園建設業協同組合(帯金岩夫理事長 組合員32社)では、山梨県から「武田の杜保健休養林」の指定管理業務を受託している。甲府市の北部に広がる武田の杜・健康の森には、20kmにおよぶ



目を閉じて自然の音に耳を澄まします

遊歩道が整備されており、森林セラピー基地として認定されている。組合では、豊かな自然の中で四季折々に変化する森林に親しむ各種レクリエーション・ハイキング・森林浴などのイベントを開催しており、その中で、森林セラピーの実施に力を入れている。

昨年12月に施行された改正労働安全衛生法に基づくストレスチェック制度は、働く人のメンタルヘルスの不調を未然に防ぐための取り組みの強化を目的としている。森林セラピーは、森林科学の立場から森林浴の効果を身体と心の健康に活かそうというもので、リラックス効果はもとより、血圧、脈拍数の低下やストレスホルモンの減少、免疫機能の上昇など様々な医学的な予防効果が実証されている。

武田の杜では、森林セラピストのガイドのもと森林セラピーを楽しむことができ、森林散策の前後で血

圧や脈拍数、ストレス度を比較し効果測定を行うとともに、季節の野菜や地元の食材を使ったヘルシーな森林セラピー弁当や温泉入浴も付いたプログラムを提供している。



ヘルシーな「森林セラピー弁当」

武田の杜サービスセンターでは、「森林を散策しながら目を閉じ自然の音に耳を澄まし、寝転んで森を五感で感じることで癒し効果が期待できます。日々の仕事、生活に少なからず感じているストレスの解消や心と体の健康づくりのために、また事業所のメンタルヘルスや福利厚生として、気の合う仲間との体験を是非おすすめします。」とPRしている。

お問い合わせは、武田の杜サービスセンター(055-251-8551)まで

TOPICS

赤帽山梨県軽自動車運送協同組合

クルマを使う事業者だからこそ「安全運転」を交通事故防止研修を開催

赤帽山梨県軽自動車運送協同組合(丹羽孝徳理事長)は、1月9日(土)に甲府市総合市民会館で、一般社団法人山梨県交通安全協会の渡辺正彦次長を講師に「交通事故防止」をテーマに組合員を



研修会の様子

対象に研修会を開催、組合員25名が参加した。

この研修会は、最近、近県で赤帽自動車の交通事故が多発していることから行われたもの。冒頭で交通事故を起こしたことにより家族が崩壊していくという内容のビデオを見た後、渡辺次長による講習を受けた。

渡辺次長からは「最近、死者件数は減少しているが、事故件数が増加している。また、以前は高齢者が事故に遭うことが多かったが、今は高齢者が事故を起こすことが多くなっている。運転行動は、認知判断-操作の繰り返しであり、運転のA当たり前の事を・Bぼんやりせず・C集中してやるが大切である。交通事故の恐ろしさは、自分だけではなく家族などの多くのものを失ってしまうことになりかねない。事故の当事者に絶対ならないように、意識ひとつで事

故は防げる。」などの話がされ、参加者は熱心に聴講した。

丹羽理事長は、「我々はクルマで荷物を運ぶことを仕事にしているため、交通事故を起こす危険性も高い。運転も慣れてしまうと注意力が散漫になってしまいがちで、ちょっとした心の緩みから交通事故を起こしてしまうと、生活の糧を失うことにもなりかねない。組合員の経営の安定のためにも、組合員の安全意識向上のための研修会を定期的に行っていきたい。」と組合の研修事業の重要性を語った。



講師の渡辺正彦次長

チャレンジ! 6次産業化

6次産業化とは、農林漁業者(1次産業)が地域にある農産物等を活用し、高工業者と連携して加工(2次産業)や流通・販売(3次産業)に取り組み、経営の多角化を進めることです。このコーナーは、中央会が6次産業化サポートセンターとして支援している事業者の取り組みを紹介します。

新生産方式による無添加あんぽ柿の開発と通年販売

●有限会社山梨フルーツライン 代表取締役 手塚 建



手塚建 代表取締役

6次産業化に取り組むこととなった経緯は?

昭和47年より「土づくりと規模拡大」による農業経営の近代化を目標に、果樹農家の流通効率化に積極的に取り組み、平成6年に農業生産法人化し、桃・ぶどうの自社園を開設しました。

しかし、峡東地域の主力の果樹栽培は夏季に繁忙期が集中する傾向が強く、年間を通じての従業員確保及び経営安定化を図ることが大きな課題となっていました。

そこで、ぶどう・桃より生産に手間のかからない柿に着目し、平成5年より「枯露柿」「あんぽ柿」の加工を始め、



自然乾燥している枯露柿と社員

平成11年からは「あんぽ柿」の本格的な生産に取り組んできました。現在では、1haの自社園柿及びぶどう・桃から転作した近隣農家の柿を使用し、首都圏へ向けて年間約20万パックを生産するまでに至っています。

6次産業化への課題はなんでしたか?

伝統的な「あんぽ柿」の加工工程では、生柿の乾燥中の黒変防止と殺菌のため、食品添加物の使用基準を遵守して、硫黄燻蒸をしています。「食の安心・安全」に対する意識の向上を背景に「無添加あんぽ柿」のニーズが年々高まり、その対策として硫黄燻蒸の工程を省略した「無添加あんぽ柿」を製造したが、黒く変色したり保存期間が短くなるなど、食品流通にのせる上での新たな課題が生じました。そこで、黒変防止と長期保存が可能な製造方法を確立すべく長年研究を重ねた結果、自然乾燥ではなく、高温乾燥などの工夫により課題解決が可能となることになりました。



乾燥機を活用したあんぽ柿

平成24年に6次産業化総合化事業計画の認定を

受け、平成25年には補助金を活用し、無添加でありながら高品質の「あんぽ柿」製造のためのボイラーと冷凍庫を設置しました。

今後の展開は?

ボイラー乾燥機の導入で気象変動の影響を受けずに品質を向上させることができただけでなく、乾燥の際の糸つるしが不要となることから柿の実のヘタについている枝をTの字に切りそろえる必要がなくなり、作業の省略化と次の年の結実枝を残すことができ、柿の木1本あたりの生産量を飛躍的に向上させることができました。また、冷凍庫も設置し「あんぽ柿シャーベット」も開発し、新しい客層の開拓と夏場の需要喚起・販売期間拡大に取り組んでいます。

今後は、大手コンビニチェーンや生協と連携し、安定した販路を確保するとともに、生産性が高く手間の少ない柿栽培を新規就農者や高齢化した農家の受け皿とすることで峡東地域の枯露柿ブランドの維持と農業振興に貢献していきたいと考えています。

やまなし“ものづくり”最前線!

LED検査機の機能・性能向上と 低コスト化に向けた開発による海外展開

●株式会社 オーテックエレクトロニクス 代表取締役社長 田倉 和男氏

国内や韓国を中心に、LED検査機の販売実績をあげているオーテックエレクトロニクス(田倉和男代表取締役社長・南アルプス市)は、巨大な市場を持つ中国での販売拡大を目指して、既存の検査機の品質を維持したままコストダウンを図るため、平成24年度ものづくり試作開発等支援補助金を活用し、「LED検査機の機能・性能向上と低コスト化に向けた開発による海外展開の開発」をテーマに試作開発に取り組んだ。

検査機の品質をそのままにコストダウンを図り、さらに製品価格を抑えるためには、製品構成部品、生産プロセスの見直しが必要であり、そのために二つの取り組みが必要となった。一つは検査機本体の性能維持とコストダウン、もう一つは高価な構成部品である分光器の性能維持とコストダウンである。



開発したLED検査装置

検査機本体の見直しでは、使用部材を変更しても検査精度、速度が低下しない回路の設計と基板の作成を行った。

次に分光器の構成部材の見直しでは、性能を維持しながら代替品を活用することとした。そのために、校正(分光器が受光した光の色味と波長

の値を調整すること)済みの分光器は高価であることから、海外メーカーの校正されていない機種を使用し、高価な分光器の性能に近づけるように校正環境を独自に開発した。

結果として高い精度と速度を誇る自社開発のLED検査装置の品質アップと、コストを40%ほど抑えた新製品を開発することができ、中国市場への進出することができた。

販売開始から3年目を迎えた新LED検査装置は、中国市場を始め日本でも好調な販売実績を上げている。

この補助事業では、開発した製品やサービスにより収益を得た場合に、その金額に応じて国等へ納付する「収益納付」の規定がある。同社はこの試作開発により売上が伸び収益を得られたことから、その一部を納付することとなった。

田倉社長は、「今回の開発は補助金制度を活用したからこそ取り組むことができ、売上が伸びることができました。新たな開発に取り組む中小企業にとって、補助金は背中を押してくれる強い味方ですので、感謝の気持ちを込めて収益納付をしようと思います。既に、中国市場には同じ検査機を作ろうという動きがあります。しかし、日本製の緻密さや速度と精度を両立した当社製品の良さをアピールし続け、今後もLED検査装置の性能向上やコストダウンに引き続き力を入れていきます。また、医療やエネルギー関連の新たな分野の開発にも取り組んでいきたいと考えています。」と、新たなチャレンジへの強い想いも語ってくれた。



熱心に説明してくれる田倉社長

中央会では、平成24年度より国が行う「ものづくり補助金」の山梨県地域事務局として試作開発等に取り組む事業者への補助金交付や事業推進の支援に取り組んでいます。このコーナーでは、「ものづくり補助金」を活用し、新たな事業展開のための試作開発に取り組む事業者を紹介します。

経営者に 聞きました!

このコーナーは、学生が県内企業の経営者を訪問し、企業の経営実態や求めている人材等について直接お話しを伺うことで、学生と企業の相互理解を進め、雇用のミスマッチ等の解消を目的としています。

学生企業レポート 第58回



経営者

株式会社 GEN
代表取締役社長
星 ちえ子 氏

思いを「かたち」に

学生

甲府商科専門学校
会計情報科
1年 芦沢 幸希 さん



▶ 学生 事業内容と会社名の由来について教えてください。

▶ 経営者

結婚式場、レストラン、パーティの企画運営など、主に結婚式を中心とした幸せのお手伝いをしている会社です。平成16年に結婚式場「ブライダルヴィレッジ・ティンカーベル」、18年に「ブライダルヴィレッジ・ミラベル」をオープンしました。その他グループ会社として、企業の社員食堂の受託運営や医療機器の組み立てなども行っております。社名は、初心忘るべからずの意味で「源」、元気もとの「元」、プロ集団としての「玄」の全ての意味を含めて「GEN」にしました。

▶ 学生 なぜブライダル業界の会社を設立しようと思ったのですか。

▶ 経営者

結婚式との出会いは、私が高校2年生の時、担任の先生の結婚式でピアノの演奏を頼まれたことでした。それを機に式場でピアノ演奏のアルバイトをするようになりました。「ありがとう」「おめでとう」と幸せになる言葉がいっぱいで空気まで幸せになる、そんな結婚式の魅力に惹かれ、いつか自分でステージを持つことを夢見るようになりました。現在のかたちにするまでは時間はかかりましたが、協力してくれる仲間のおかげで夢をかたちにすることが

出来ました。夢は思い続ければ叶うものですね。

▶ 学生 ブライダルの現状についてどうお考えですか。

▶ 経営者

近年結婚式のスタイルは多様化しており、入籍だけなどと省略してしまう時代ですが、式だけは省いては欲しくありません。人生の節目を大切にいただき、ご両親やこれまでの人生に関わってくれた全ての人たちに感謝し、そしてこれからの人生もよろしく願います、というごあいさつの場として大切な意味を持っています。今後も結婚式の大切さはきちんと伝えていきたいと思っています。

▶ 学生 御社が求める人材を教えてください。

▶ 経営者

弊社の社員である前に、結婚式が好きな方、幸せのお手伝いをするに誇りを持ってもらえる仲間を増やしていきたいと考えています。

以前、チャペルのドアから新郎新婦が入場した後、閉めたドアにしばらくの間お辞儀しているスタッフがいます

取材を終えて...

「夢」や「幸せ」をお話なさる星社長の目から、経営に対する熱意が伝わってきました。短い時間でしたが、私自身の考え方や気持ちがブライダル業界に前向きになりました。

た。何をしていたのかと問うと、「今日1日、お二人のイメージ以上の結婚式になりますように」と願いを込めておまじないをかけていたそうです。マニュアルにもないですけど、そんな姿を見ていいスタッフに恵まれているなど日々感じています。

▶ 学生 今後の目標について教えてください。

▶ 経営者

「会社」という字をひっくり返すと「社会」になります。私は社会貢献ができるような会社にならないと経営者の資格がないと思っています。「次の社長になりたい!」と思ってもらえるような魅力的な会社になりたいです。

また、起業当初の自分の思いを忘れず、人との関わりを大切に、いつでも初心を忘れないよう心掛けています。ここで結婚式を挙げた人たちが、また来たい、また会いたいと思ってもらえるような、ご満足いただけるステージであり続けたいと思っています。



学生企業レポート 第59回



学生

山梨情報専門学校
情報システム科
1年 志村 敬太 さん

ヒューマンスキルの高い会社を目指して

経営者

株式会社 イートライス
代表取締役
加賀美 誠 氏



▶ 学生 会社概要と事業内容についてお聞かせください。

▶ 経営者

会社設立前はコンピュータ関連企業において、システム運用・開発に携わっており、山梨事業所の責任者を務め、グループ会社全体のIT関連業務を管理していました。

平成25年に富士吉田市で創業し、情報処理システムの開発やプログラム設計技術者の派遣、情報処理サービスなどの事業を行っています。顧客は都内の企業が多く、主要な業務は企業向けの会計、金融、流通等の業務システムの設計・開発から、運用・保守管理などにも幅広く対応しています。企業からのオーダーに対し、最適なシステムを提案し構築するように努めています。

▶ 学生 求める人物像をお聞かせください。

▶ 経営者

IT業界ですから、情報通信、プログラミング言語、コンピュータに関する専門的な知識や技術は必要ですが、当社が求めているのはコミュニケーション能力が高い人材です。積極的に人間関係を構築できる人、誰とでも話ができる人を求めています。

例えば、最適解でなくとも、自分で考え、提案し、問

題を解決していくことが大切です。技術力、つまりテクニカルスキルも重要な要素の一つです。しかし、折衝能力、コミュニケーション能力等、対人関係能力つまりヒューマンスキルが社会においてテクニカルスキルに勝るとも劣らない要素だと考えています。

▶ 学生 御社の将来ビジョンをお聞かせください。

▶ 経営者

現在、富士・東部地域にはIT関係の仕事が少ないので、県外で仕事をせざるを得ない状況です。そのような中、地元富士五湖エリアの情報発信をする手段としてITを使ったサービスと、実際に訪れた人たちに提供する現実なサービスとがシームレスにつながる事が出来たら地域活性化に繋がるものだと思います。今後、地の利を生かせるシステム開発ができれば良いと思っています。われわれが目指すものは、お年寄りや外国人観光客が分かりやすいシステム作りです。

取材を終えて...

しっかりとした意思表示ができ、辛抱強く仕事をしていけば認められ、そこからやりがいが出てくることを教えて頂きました。将来、オリジナルのシステムを製作し周囲に誇れるような実業家になれるように、学生時代に多くの人との関わりを大切に、これからも様々な経験を通して沢山のことを吸収することで、夢に向かって努力していきたいと思っています。

▶ 学生 社長が大事にされていること、学生に伝えたいことをお聞かせ下さい。

▶ 経営者

まずは、友人を多く作ることです。友人とは遊び仲間という意味ではありません。人と人の繋がりは重要で、若い時に様々な分野の人と交流し人脈を築くことで、自分とは違う角度からの視点や考え方などが得られることがあり、自分の知らない世界が見えてきます。

また、以前は、自己犠牲も一部ありますが、頑張っただけでやり遂げようという気持ちが強い人が多かったと思います。今の若者は理想が高いが諦めも早く、少し躓くとすぐに諦めてしまうように感じます。辛抱強く仕事に取り組みすることで、次第に認めてもらえるようになり、それが仕事のやりがいにもつながり、楽しくなっていきます。そのためにもやり抜く意思が大切です。



情報BOX

将来の生活環境の変化を先取り！ 未来都市モデルの視察研修を実施

●山梨県中小企業組合等事務連絡協議会

山梨県中小企業組合等事務連絡協議会(坂本義博会長)は、12月2日に愛知県豊田市の「とよたEcoful Town」への視察研修を実施し、会員20余名が参加した。



今後生活スタイルは大きく変化していく

協議会では組合事務局の役職員の資質向上と組織運営や組合の新たな事業展開のために役立つ情報提供を目的に活動をしている。今回の研修は、今後の経済活動に大きな影響を及ぼす地球温暖化の緩和のための低炭素社会の早期確立を目指して市民-地域-企業が力を合わせてさまざまな取り組みを展開している「とよたEcoful Town 愛知県豊田市」をに訪問し、最新技術について学んだ。

とよたEcoful Townには、ヒートアイランド現象を抑制する緑化や保水技術を

活用した舗装技術、自然エネルギーの活用やリサイクルの先端技術が実際に見て取れるように展示されるほか、水素製造装置を兼ね備えた水素ステーション、事故を未然に防ぎ、交通・環境問題を解決するための高度道路交通システム、新たな農業の可能性を示す植物工栽培ユニットなどが現実に運用されており、現在24企業が参画をしている。

坂本会長は、「様々な施設の見学と体験によって、近未来社会が人々の暮らしや街をどう変えるのかイメージすることができた。組合事務局として消費者・取引先から求められる前に時代を先取りした“ものづくりやサービスの提供”ができるよう、組合員に働きかけができる情報収集ができた。」とコメント。協議会では今後も会員同士の連携を図り、組合運営等の中枢とも言える事務局強化のための事業を行っていく。



未来の電動モビリティに試乗体験

情報BOX

▶事業主・従業員の皆さまへ **山梨県と市町村から重要なお知らせです!**

山梨県では県内の全市町村において特別徴収の完全実施を行っています。

個人住民税の特別徴収とは

- 事業主の皆さまが特別徴収義務者として、国の所得税と同様に納税義務者である給与所得者に支払う給与から個人住民税を毎月徴収し、給与所得者の住所地の市町村に納入していただく制度です。
- 地方税法第321条の4及び各市町村の条例により、給与所得者の個人住民税は原則として特別徴収により納めていただくことになっています。

◆普通徴収が認められるのは次のア～カの項目に該当する場合に限られ、この項目に該当しない場合は、特別徴収の指定(税額確定通知の送付)をさせていただきます。

- ア 総受給者数(専従者・乙欄・退職者を除いた合計)が2名以下
- イ 他の事業所で 特別徴収・普通徴収として扱う乙欄該当者
- ウ 毎月の給与が少なく、税額が引けない
- エ 給与の支払期間が不定期(例:給与の支払いが毎月ではない)

- オ 普通徴収として扱う事業専従者(個人事業主のみ該当)
- カ 退職者・退職予定者(5月末日まで)

◆特別徴収の詳細な制度や手続き等については、山梨県及び所在市町村のホームページをご確認ください。また、ご不明な点がある場合にはお近くの市町村税務担当課または山梨県担当各課までお気軽にお問い合わせください。

《山梨県ホームページ・各市町村お問い合わせ先》

- アドレス
http://www.pref.yamanashi.jp/zeimu/kojinjuminzei_tokucho.html
※各市町村のホームページには、山梨県のホームページから移動することができます。

《山梨県のお問い合わせ先》

- 総合県税事務所(055-261-9122) ●税務課(055-223-1386)
- 市町村課(055-223-1426)

中小企業者のための共済事業

共済にかけて安心 伸びゆく企業

普通・総合・新総合火災共済

皆様の財産を火災や自然災害等からお守りする共済制度です。

生命傷害共済

病気・けが等により死亡や、けがによる入・通院費用等を保証する共済制度です。

休業補償見舞金共済

災害等によって休業した場合にその損失を補償する共済制度です。

医療総合保障共済

医療(病気・けが)共済とがん共済をセットした共済制度です。

当組合は、中小企業とその経営者・従業員の方々を対象とした共済事業を行っています。

3つの特色で皆様の企業をパワフルにバックアップします。

- 安い掛金 ●迅速な支払 ●剰余金は契約者に還元

山梨県火災共済協同組合 山梨県中小企業共済協同組合

甲府市中央1-12-37 IRIXビル3階
TEL(055)235-7564 FAX(055)235-7538

Yamanashi Kenmin Shinkumi

My Pleasure Plus

けんみん信組
カードローン
マイプレジャープラス

27年4月
リニューアル!

皆さまの日常を便利に変える、カードローン「My Pleasure Plus」
この一枚で手に入れる、あなたの新しい「Pleasure」を

ご融資金額 最高800万円まで

ご融資利率 (一般のお客さま) **年3.80%~年14.50%**

固定金利(1年自動更新)

当組合にて住宅ローンをご利用のお客さまは
さらに、**0.5%優遇!**

ご融資利率はお客さま毎に審査のうえ決定致します。
パート・アルバイトの方もOK!
スマートフォンからもお申込みができます!

詳しくは、けんみん信組の窓口または、営業係までお気軽にお問い合わせください。

スマートフォンからのお申し込み
※お申し込みの際は、必ずお申し込みの住所に届く郵便物の届くことをご確認ください。

提携パートナー機関として
山梨県民信用組合
<http://www.yamanashikenminshinkumi.jp>

山梨県中小企業団体中央会が推進する
安い掛金で 大きな安心

自動車共済

24時間事故受付で、緊急連絡にそなえて万全の事故処理体制をとっています。万一の事故のときは、顧問弁護士や専門職員が示談交渉にあたり、解決するまで協力します。

関東自動車共済協同組合 山梨県支部

〒400-0035 甲府市飯田 4-4-2 自動車共済ビル
TEL 055-237-8331(代)

第21回 2016 中小企業組合まつり

開催日時 平成28年3月13日(日)
9:00~15:30

開催場所 **アイメッセ山梨** [甲府市大津町2192-8]

内容

- 組合及び組合員等の取り扱う商品及びサービスの展示・提供
- 組合の事業活動を紹介する展示や体験
- やまなしの特産品の販売
- 地域資源の活用、6次産業化、農商工連携による活性化事例の紹介
- 静岡県中小企業団体中央会との連携による静岡県の特産品の販売

平成27年度「消費者セミナー」のご案内

開催日時 平成28年3月5日(土) 14:00開演

開催場所 昭和町 **アピオ甲府**
(中巨摩郡昭和町西条3600)

講演 **どうなる日本!
日本経済と地域経済の明日を読む**

講師 ● 経済ジャーナリスト 須田 慎一郎 氏

テレビ出演 ● 「ワイドスクランブル」
「ビートたけしのTVタックル」

問い合わせ先 一般社団法人 **山梨県トラック協会**
TEL.055-262-5561

聴講無料

編集後記

今年も早いもので、一ヶ月が経ちました。3月末を事業年度としている会員の皆さんにおかれましては、決算の取りまとめや総会に向けての準備が始まる頃と思われます。決算や総会の準備でご不明な点は中央会担当職員までお気軽にお問い合わせください。

●ご意見・ご要望は、
中小企業タイムズ編集班まで

TEL 055-237-3215
FAX 055-237-3216
E-mail webmaster@chuokai-yamanashi.or.jp

日本公庫 国民生活事業からのご案内

日本政策金融公庫は、皆さまのための政策金融機関として、お役に立てよう努めてまいります。

★小規模企業の皆さまへ★ セーフティネット貸付

雇用の維持・拡大を図るなど一定の要件に該当する方は、利率が標準利率より引下げとなります。

★教育資金を必要とされる皆さまへ★ 国の教育ローン

ご融資額 高校、短大、大学等に入学・在学のお子さまお1人につき350万円以内
ご返済期間 15年以内(交通遺児家庭、母子家庭または世帯年収(所得)200万円(122万円)以内の方は18年以内)
お使いみち 今後1年間必要となる費用(学校納付金、受験費用、入在学のための住居費用など)

このほか、皆さまのご要望にお応えする様々な融資制度・サービスがございます。詳しくは甲府支店 国民生活事業までお問い合わせください!!

〒400-0031 山梨県甲府市丸の内2丁目26番2号
TEL.055-224-5366(お申込相談)

JFC 日本政策金融公庫
国民生活事業部

新たに採用しました。
よろしく
お願いします。



連携組織課
主事

清水 翔氏

新採用職員紹介

Come on! Truck Driver!



トラックドライバーの仕事って何?荷物を運ぶ仕事?いいえ、トラックドライバーの仕事は「運ぶ仕事」ではなく「届ける仕事」です。ご存知でしょうか、国内物流の約9割を担っているのはトラックであることを。「今日出した荷物が明日には届く」そんな「当たり前」の陰にはトラックドライバーがいることを。荷物を待つ人のもとへトラックドライバーは預かった荷物とともに「生活・経済」を後ろに載せて、より確実に、環境に配慮しながら、今日も走り続けています。トラックの魅力を教えてほしい?それは乗ってみればわかります。人の想いを届けてみればわかります。
さあ未来へと走ってみよう、トラボーイ、トラガールとして。

平成27年度環境標語最優秀作品

トラックが僕らの未来を守ります
暮らしと荷物と環境を

(一社)山梨県トラック協会・(公社)全日本トラック協会

法人・個人事業主さま専用

必要な時に
必要な額だけ
使いたい

銀行に行く
時間がない...

急な支払いに
備えたい

そんな会社のお悩みを解決します!

山梨中銀 クイックローン 「特別口」

いつでも

●ご利用限度額の範囲内で、
何度でもご利用いただけます。

最大
500万円

●ご契約極度額
100万円以上500万円以下

ATM

●当行のATMで、
お借入れ・ご返済ができます。

※審査の結果、ご希望にそえない場合がございますのであらかじめご了承ください。
◎くわしくは山梨中央銀行の窓口またはフリーダイヤルへどうぞ。
☎0120-201862(照会コード:9) 受付時間 月曜日~金曜日9:00~17:00
ただし、祝日・12/31~1/3は除きます。)

ふれあい、さわやか
山梨中央銀行

平成27年4月1日現在

山梨を支える企業とともに

「経営改善策定支援事業」を利用し、経営改善を行う方の
負担額の2分の1を補助します

- 取扱例：経営改善費用150万の場合
国：100万円 保証協会：25万円 事業者負担額：25万円
- ※詳しくは下記までお問い合わせください。

無料相談実施中

●当協会では、中小企業診断士・経営アドバイザーが
金融・経営に関する相談を受け付けております。

- ◆相談日 第1・第3木曜日(原則) ◆時間 16時~18時
- ◆場所 本店:甲府市飯田2-2-1 中小企業会館1階

事前予約制) 下記までお気軽にご連絡ください。

山梨県信用保証協会

甲府本店 TEL 055-235-9700
☎ 0120-970-260
富士吉田支店 TEL 0555-22-0992

この街と生きていく



しんきんキャッシュカードなら、全国
のしんきんATMで、平日・土曜のご利
用手数料が無料をご利用できます。

(一部対象外のATMがございます。)

甲府信用金庫
(055-222-0231)

山梨信用金庫
(055-235-0311)